

「2015アジア・パンパシフィック国際障害者ピアノフェスティバル in 東京」

1次審査 合格者リスト。

CIPFD 国際障害者ピアノフェスティバル委員会ではお知らせのとおり今年7月21日及び22日 東京文化会館で開催する「2015アジア・パンパシフィック国際障害者ピアノフェスティバル in 東京」大会へ向けて、参加者を日本国内はもちろん、アジア太平洋地区の国々の関係者に呼びかけていましたところ、たくさんの問い合わせや応募者があり、その中から規定に従って委員会で審査の結果、以下のかたがたがこのたびの「東京大会」に参加が決定しました。

「2015アジア・パンパシフィック国際障害者ピアノフェスティバル in 東京」

E-1	B	Shoichiro Bando	板東翔一郎	27	男	1988/3/4	日本
A-2	B	Takahiro Kato	加藤貴宏	22	男	1992/7/2	日本
E-3	A+B	Kouya Suechika	末近 功也	16	男	1998/11/9	日本
A-4	B	Aika Goto	後藤 藍衣香	13	女	2001/8/31	日本
B-5	A+B	Maiko Sagawa	佐川麻衣子	31	女	1983/12/26	日本
A-6	A+B	Masataka Oota	太田将誉	28	男	1986/11/5	日本
A-7	A+B	Mayu Shimizu	清水 麻由	21	女	1993/8/16	日本
A-8	A+B	Yosuke Iida	飯田陽介	15	男	2000/3/15	日本
A-9	A+B	Aya Kawashima	川嶋 絢	24	女	1991/4/26	日本
E-10	B	Ryusei Machida	町田竜晟	12	男	2002/8/25	日本
B-11	A+B	Kayoko Shinohara	篠原加代子	45	女	1970/1/22	日本
F-12	A+B	Haruka Owaki	大脇悠伽	14	女	2000/5/12	日本
A-13	A+B	Kodai Sakamoto	坂本浩大	17	男	1997/11/1	日本
F-10	A+B	Wun-Guei Lyu		31	男	1984/8/19	台北
C-11	A+B	Yen-Hao Chen		17	男	1997/8/14	台中
F-12	B	Che-Yuan Tsai		22	男	1992/9/11	台中
F-13	B	Hsuan-Yu Tseng		20	男	1994/11/12	台中
F-4	A+B	David Gonzalez		18	男	1996/12/15	メキシコ合衆国
E-5	B	Carlos Joel Mena		29	男	1985/12/14	コスタリカ共和国
C-6	B	Steven Tanus		21	男	1993/11/11	インドネシア共和国
A-7	A+B	Then-Yueh Chuang		33	男	1982/5/7	台中
F-8	B	Jin-Min Li		21	男	1993/10/10	台中
C-2	A+B	Sangheon Kim		23	男	1991/4/25	大韓民国
D-1	A+B	Amy Pottharst		12	女	2002/11/1	アメリカ合衆国
C-9	B	Zhe-Ling Ye		19	女	1996/3/17	台北
A-3	B	Xu Shi		18	男	1996/7/24	中華人民共和国

参考：A=Mental retardation/知的障害部門)

B=Limbs impairments/四肢障害。

C=Visual impairments/視覚障害

D=Hearing impairments and/or Communication impairments/聴覚言語障害

E=Developmental disabilities/発達障害

F=Plural disabilities/重複障害

但し、ここに記載のネパール代表 Mr. Krishna Bhakta Rai（視覚障害の部）さんは、合格者リストにノミネートされた直後、御存じネパール大地震に見舞われ、被災の為参加できなくなったと緊急連絡が入りました。

そこで私たちはネパール文化友好協会代表と話し合った結果、急きょ現地の関係組織や、報道関係、を通じ新たな候補者を選考し、5月中に代表を送る、という申し合わせに従い、連絡待ちを了承しました。

こういう時に同じ音楽仲間として何か臨機応変に対応する、直接励ましあう機会を持つというのは大切なことです。

勿論大会における音楽や表現力、能力の評価は客観的状況に関係なく厳正に行われることはあたり前のことですが、これとは別に こうした緊急の事態における仲間のために、なにがしか「思いやりの」方法がないかと考えることも私どものたいせつな運動の一つでしょう。

そこで当委員会としては、大会終了後の7月23日の午後、今大会のメダリストや、一般のプロの音楽家たちに呼びかけて「ネパール大震災被災者支援のためのチャリティーコンサート」として企画を検討中です。場所は「学習院大学創立100周年記念会館、小講堂」の使用許可を頂きました。

具体的な内容についてはこれからですが、賢明な諸兄弟の皆様のご意見をお聞かせいただければ幸いです。

同じ震災国としての苦悩を共にしている仲間として、さらにこうした緊急の災害の中での障害音楽家の問題について、真剣に考えるときにしたいと思います。

2015/5/26

NPO 国際障害者ピアノフェスティバル委員会

迫田時雄

